

平成30年度第5回

柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合

一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）審議会

会議録

日 時 : 平成31年1月17日（木）  
場 所 : 柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合  
クリーンセンターしらさぎ3階会議室

○日 程

審議会

1 議事

(1) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について（審議）

(2) その他

○出席委員（12名）

会長	土屋 裕彦	組合議会議員（鎌ヶ谷市選出議員）
副会長	石井 昭一	組合議会議員（柏市選出議員）
委員	小泉 文子	組合議会議員（柏市選出議員）
	針貝 和幸	組合議会議員（鎌ヶ谷市選出議員）
	永野 正敏	柏市議会市民環境委員会委員長
	原 八郎	鎌ヶ谷市議会都市・市民生活常任委員会
	村越 茂	柏市住民代表
	鈴木 勲	柏市住民代表（藤ヶ谷区）
	小金谷 正男	鎌ヶ谷市住民代表（軽井沢自治会）
	小山 与之子	鎌ヶ谷市住民代表
	栗島 英明	学識経験者（芝浦工業大学建築学部 建築学科教授）
	伊藤 勝	学識経験者（早稲田大学招聘研究員・江戸川大学評議員）

○欠席委員（0名）

○説明のための出席者

事務局	渡邊 忠明	事務局長
	杉浦 清	事務局次長
	笠井 雅之	しらさぎ所長
	沼中 裕一郎	しらさぎ計画係長
	岡田 壮玄	しらさぎ主査
構成市	山岡 康宏	柏市廃棄物政策課 課長
	中川 聡	鎌ヶ谷市クリーン推進課 課長

○傍聴者

0名

## ○審議会

### 1 議事

(1) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について（審議）

(2) その他

#### 〈会長〉

それでは、本日の議事に入りたいと思います。

「議事（1）一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について」事務局より説明をお願いいたします。

#### 〈事務局〉

前回、指摘等のあった事項について説明。

「基本計画素案（中間とりまとめ）について」について説明。

#### 〈会長〉

それでは、ただいまの説明について何かご意見、ご質問等ありましたらどうぞ。

#### 〈J委員〉

よろしいですか。直接関係ないのですが、今日配布された資料の67ページの横浜市は全部レジ袋に入れてとか、ビン缶も一括して出して構わないとか、ちょっと通常と異なるのですが、人口がちょっと大き過ぎるからできないということもあるんでしょう。そういう状況なんで、同列には扱えないかなと思っています。

#### 〈事務局〉

今回こちらの例示をさせていただいたのは、平成23年度から平成28年度にかけて、減量化効果のあった市町村を基本的にピックアップさせていただいております。確かに横浜市につきましては、当組合の清掃管理区域と違いましてかなり大きな市になります。ただ実際問題、減量化率につきましては6.94パーセントとなりかなりの減量化率を実施している部分でございます。またG30プランというような、ごみ排出量30パーセント削減する減量、リサイクル行動を行っています。また集団回収による紙ごみ、雑紙の回収により燃えるごみの紙類の削減を行っているということからですね、今回当組合の中間とりまとめの内容の中に類似している部分がありましたので、表記させていただきました。

#### 〈J委員〉

あと、もう一つよろしいですか。資料の46ページ、47ページなんですけども、グラフに関して横のスケールがまちまちになっている。中間目標年度と最終目標年度に縦線を入れてもらったら一番わかりやすいと思いましたが、柏市の人口がギリギリだということと、人口予測が5年ごとに出されていて無理だということならば、2025年に一発線を入れないと分からなくなってしまうので、ご検討されたらいかがか。

#### 〈事務局〉

かしこまりました。

#### 〈会長〉

他にご意見、ご質問等ございませんか。

#### 〈J委員〉

それと、確かにプラスチックごみも書かれた方が良いと思います。最新の国際的な状況を鑑みてどうするかということを考えなければならない。それを今出すことはできないと思いますから、今どのような状況になっているのかを資料に入れたらどうか。市民の方々にもプラスチックに関してどのような気持ちになっていただければならないか。そういうような状況はできないよというような、柔らかい言葉で入れていただいたらどうかと思います。

#### 〈事務局〉

かしこまりました。まだパブリックコメントの前ですので、ただいまのご意見等を反映しまして、パブリックコメント時にはコラムという形です、少し柔らかい形で今の情勢を軽く挿入して、パブリックコメントの方をかけたと思います。

#### 〈J委員〉

よろしくをお願いします。

#### 〈会長〉

他にご意見、ご質問等はございますか。はい、I委員。

#### 〈I委員〉

スライド8枚目の基本理念のところでごみが増えることが懸念されると文章があり、一方で13ページの方を見ると、施策なしでも原単位は減っていく。こうなると表現が矛盾しているように聞こえてしまうところがある。実際には、過去のトレンドから推計していると思うんですが、この場合施策がないわけではなくて、今までやってきた延長線だとこ

の推移ですよと。それに加えて、基本計画の施策をすることで赤のラインになりますよと説明しなければならないです。施策なしでは誤解を招きかねないです。今までやってきたことでもここぐらいまで減りそうだけどというような書き方にしないと、何もしなくても減ると思われる。総量としては人口に関わってくるのですが、原単位に関しては、施策なしというのは修正が必要かなと思う。

卵一個分という表現はとてもわかりやすいと思うのですが、できればスライド19枚目の絵の卵がしゃべっているところありますよね。そこに一日って入れていただけますか。一日卵約一個分を減らすということですよね。一日の原単位のことですから、文章の方を見ると一日と書いてあるのですが、できれば絵だけを見てもわかるように。

#### **〈事務局〉**

ありがとうございます。

#### **〈会長〉**

他にご意見、ご質問等がありますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、以上で「議事（1）」を終了いたします。それでは、「議事（2）その他」に移ります。みなさんから何かございましたらどうぞ。

よろしいですか。それでは事務局から何かありますでしょうか。

#### **〈事務局〉**

事務局より事務連絡。

#### **〈会長〉**

皆さんよろしいでしょうか。それではよろしく願いいたします。

それでは以上をもちまして本日の審議会を終了させていただきます。事務局は本日の審議を踏まえ、各調整をお願いいたします。長時間にわたりお疲れさまでした。